

【事業実績】

(1) 多言語化の推進

①音声ガイドの整備（中国語繁体語・中国語簡体語・韓国語）

菊池川流域を含む熊本県の装飾古墳が国指定に指定されてから100年を迎えるにあたり、改めて熊本の宝である装飾古墳を始め、「肥後古代の森」各地区に所在する史跡にスポットを当て、文化遺産の価値の共有化を図る機会とするため、その魅力を国内のみならず外国人の観光客へも広く発信する手段の1つとして、既存音声解説ガイド（日本語・英語）の多言語化を行い、外国からの来館者に対してサービスの向上を図る。

【音声ガイドの概要】

無償アプリ「ポケット学芸員」をスマートフォンにダウンロードして、熊本県立装飾古墳館の展示物の解説や画像などの情報が表示され、日本語・英語・中国語繁体語・中国語簡体語・韓国語5ヶ国の音声解説ガイドを楽しむことができる。

【解説カ所】

- ・熊本県立装飾古墳館概要
- ・展望所からの眺望
- ・常設展示室
- ・装飾古墳室の展示物ほか



② 多言語対応パンフレットの作成・無料配布

熊本県が誇る装飾古墳の普及啓発を図るため、多言語図録「くまもとの装飾古墳」を作成し、来館者や外国人旅行者へ中核施設である熊本県立装飾古墳館や観光案内所等で無償配布を行い、県内外への情報発信や装飾古墳への認知度向上を図る。

【多言語対応パンフレットの概要】

日本列島の各地に存在する石棺や石室に彫刻や彩色で文様が描かれた装飾古墳は、全国で約700基が知られ、そのうちの約3割が存在する熊本県。

装飾古墳国指定100周年を記念して、熊本県の装飾古墳の始まりから発展を取りまとめた多言語対応パンフレット「くまもとの装飾古墳」（日本語・英語・中国語繁体語・中国語簡体語・韓国語）を作成し、無償配布する。

【掲載内容】

- ・装飾古墳の概要
- ・石に刻まれた文様
- ・彩色壁画の成立
- ・装飾のある横穴墓 など



(2) 装飾古墳国史跡 100 周年記念展の開催 (県単独事業)

- 展覧会名 「装飾古墳うけつがれゆく宝」展
- 開催期間 令和2年10月17日(日)から令和2年12月24日(木)まで
- 入館者数 総計：1,272名

【展覧会の概要】

本展覧会は、熊本県の古墳文化を代表する「千金甲古墳(甲号)(乙号)」、「井寺古墳」、「大村横穴群」など6つの装飾古墳が、大正3年(1921年)3月3日に国史跡に指定されて100年の節目を迎えるにあたり、わが国を代表する貴重な文化財としてうけつがれゆく宝「装飾古墳」の世界へと案内しました。

【主な展示品】

- ・江田船山古墳出土品(国宝：銀象嵌銘大刀レプリカ)
- ・チブサン古墳出土品(土師器・はにわ一式ほか)
- ・弁慶ヶ穴古墳出土品(馬具・鉄鏃一式)
- ・臼塚古墳出土品(馬具・玉類一式)
- ・馬塚古墳出土品(円筒埴輪・玉類一式)
- ・装飾古墳調査時の写真パネルや調査時の図面(チブサン古墳・横山古墳・馬塚古墳ほか)
- ・熊本県立鹿本高校考古学雑誌 など



【開催イベント等】

- 特別講演会「装飾古墳 うけつがれゆく宝」
 - ・講師 熊本県立装飾古墳館 廣田学芸課長
 - ・日時 令和2年11月21日(土) 午後1時30分
 - ・参加人員 29名



- 「装飾持つ岩原横穴墓を見に行こう」
 - ・講師 熊本県立装飾古墳館 廣田学芸課長
 - ・日時 令和2年10月31日(土) 午前10時
令和2年11月7日(土) 午前10時
 - ・参加人員 合計：26名



- 「装飾古墳スタンプでオリジナルバッグを作ろう」
 - ・講師 熊本県立装飾古墳館 三木主任学芸員
 - ・日時 10月31日・11月7日・14日・28日
12月5日・12日
 - ・参加人員 合計：18名

